

ミナミハンドウイルカの個体識別調査結果

2018年のミナミハンドウイルカ個体識別調査の結果報告になります。2018年は、父島周辺海域20回、嫁島周辺海域1回、母島周辺海域1回のイルカ調査を行い、皆様からの提供データと合わせて計74個体のミナミハンドウイルカを識別しました。今年、新たに5個体がデータベースに登録され、2003年にイルカ調査を開始してからの延べ識別個体数は、277頭となりました。

今年新規登録された#347（親は#59）の個体、2018年11月の調査で確認した際に、体中に多くの傷を背負っていました。同年9月の時点では傷はなく、その間にサメなどに襲われたと考えられます。今年生まれたこの子の成長も、今後追っていききたいと思います。



#347

2018年11月5日に撮影



～最も出会えたイルカたち～

3個体が同率1位で、9回でした。この3個体、これまでのところ、父島周辺海域のみで観察されています。

#118・フック
オス

2005年から毎年確認されている個体。背ビレ後縁の「く」の字の欠損が特徴。コドモの頃から観察できており、2008年に親離れを確認。昨年も出会った回数1位。

#266・アイ
性別不明

2010年から確認されている個体で、体の右側に、目のような丸い跡が2つあるのが特徴。2017年には、ハシナギイルカのコドモを連れていたこともある。

#273・モグオ
オス

2011年から確認されている個体。左側の口にミミエボシが付着しているのが特徴。ミミエボシの付着度には、季節性があることが分かってきた。

4月中もクジラの陸上観察会やってます！

ザトウクジラのピークシーズン中、おがさわら丸入港日の夕方、父島ウェザーステーション展望台にて「クジラの陸上観察会」を実施しています。ご興味のある方、ご参加お待ちしております。

一緒に展望台からザトウクジラを探しましょう！！



場所：ウェザーステーション展望台
(Bしっぶから徒歩約30分)

日程：4/4・10・16・22

時間：おがさわら丸入港日の16時～17時

参加費：無料

※天候・海況不良の場合は中止